

# 「まちづくり市民アンケート」

## 調査結果をお知らせします



市では、豊岡市総合計画の後期基本計画を策定するにあたり、市民の皆さんの意見を参考とするため、本年2月に「まちづくり市民アンケート」調査を実施しました。

市内在住の18歳以上の方5千人を無作為に抽出し、郵送によるアンケート調査を行い、その結果、全体の36.4パーセントにあたる1821人から回答がありました。

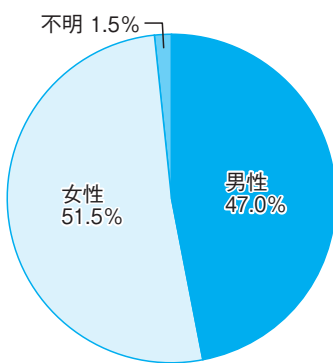
このたび調査結果がまとまりましたので、その主な内容をお知らせします。

《問合せ》政策調整課政策調整係 ☎21-9022

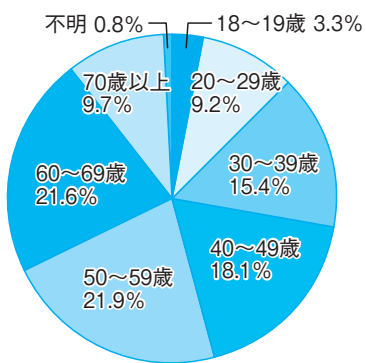


### 回答者の属性

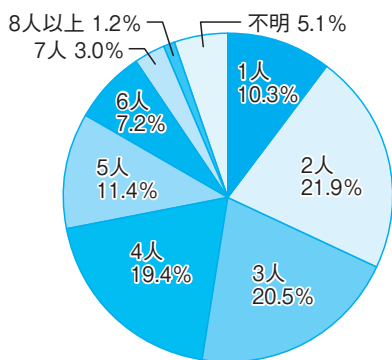
#### 【回答者の性別】



#### 【回答者の年齢】



### 【家族構成】



### 豊岡市での生活

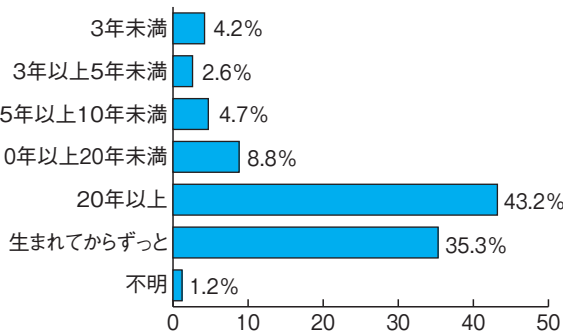
現在、市民の約8割が豊岡市内に定住し、6割以上がこれからも居住を希望

#### ▼居住年数(グラフ1)

豊岡市内での居住年数は「20年以上」が43.2パーセントと半数近くを占め、これに「生まれてからずっと」の35.3パーセントを加えると全体の約8割を占めています。また、居住年数が5年未満

は約7パーセントであり、回答者の大半は豊岡市に定住していると言えます。

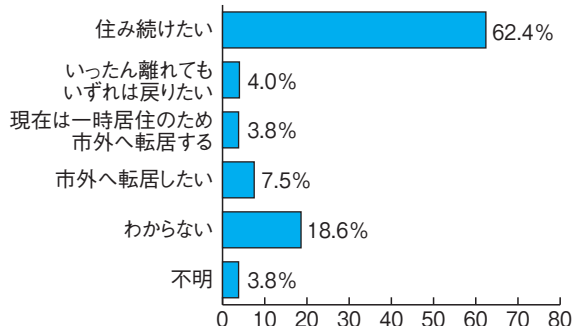
#### 【グラフ1】居住年数



#### ▼定住意向(グラフ2)

62.4パーセントの方が「これからずっと豊岡市内に住み続けたい」と回答しており、「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」を加えると、全体の約3分の

#### 【グラフ2】定住意向



2の方は豊岡市での定住を望んでいます。一方、「市外に転居したい」と回答した方は、7.5パーセントになります。



っています。

定住意向を年代別に見た場合、「これからもずっと豊岡市内に住み続けたい」は10歳代では4・9パーセントとかなり少数ですが、年齢層が高くなるほどこの割合は高くなっています。

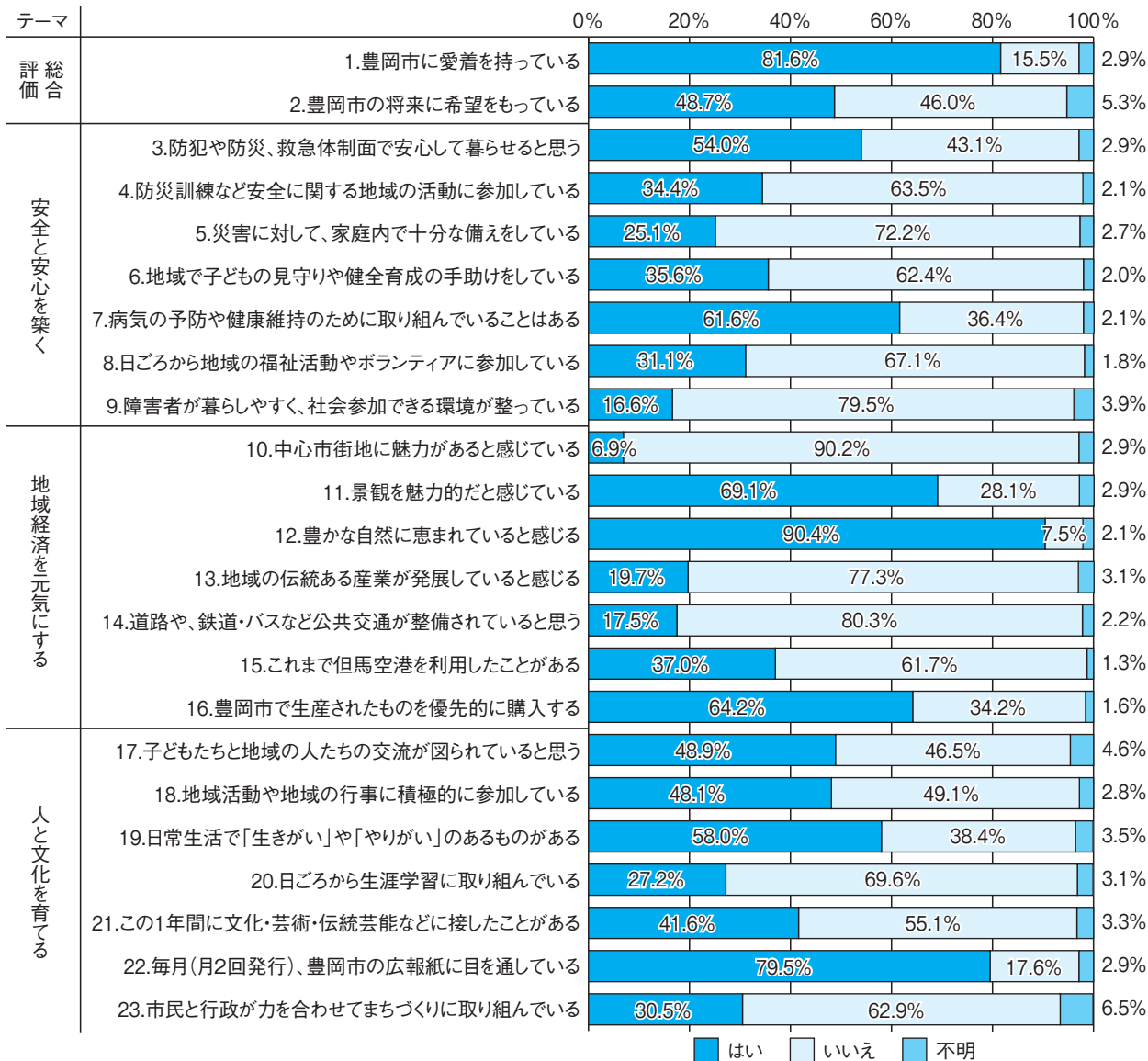
また、「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」が10歳代では3割強を占めています。年齢層が高くなるほど、その割合は急激に減り、30歳代では5パーセント未満になっています。

「市外に転居したい」は10歳代では27・9パーセントを占めています。年齢層が高くなるほど、その割合は減っていく傾向にあります。

▼テーマと暮らしについて  
(グラフ3)

「市への愛着」「豊かな自然に恵まれている」「広報紙の通覧」は、おおむね8割以上の方が「はい」と回答しています。一方、「中心市街地の魅力」「障害者の暮らしやすさ」「地域の伝統ある産業の発展」「公共交通の整備」は、約8割の方が「いいえ」と回答していません。

【グラフ3】 テーマと暮らしについて



合併に対する評価

施設の有効利用や観光施策に一定の評価はされているものの、住民負担の増加に厳しい意見

▼合併によって達成できたこと(グラフ4)

今回の合併によって達成できたこととしては「旧市町の施設の有効活用や相互利用」が21・7パーセントと最も多く、以下「観光・交流活動の活性化」が21・5パーセント、「広域的視点でのまちづくり」が16・0パーセント、「新豊岡市が一体となったイベントの開催」が15・7パーセント、「行政経費の削減や行政運営の効率化」が15・4パーセントで続いています。しかし、いずれの項目も得票率は3割未満であり、合併によって達成できたことへの評価は分散しています。

▼今後期待したいもの(グラフ5)

回答者が今後期待したいものとしては「住民負担の低減と行政サービスの向上」が55・

